



かけこう通信

令和6年度 第4号
令和6年7月17日
島根県立三刀屋高等学校
掛合分校発行(文責:小川)

「映像・画像の記録講座」を行いました

6月10日(月)6限に、元NHKディレクターの伊藤耕一さんを講師にお招きし、学力育成事業「映像・画像の記録講座」を行いました。「相手に伝わる映像や写真の撮り方について学び、発表資料やレポート等に活用できる映像や写真を残せるようにする」を目的に、「ものをわかりやすく伝える視点とは?」「伝えるためにはどのような映像、画像が必要か?」をわかりやすく説明していただきました。また、先月参加した入間花田植えにおいて、写真係の生徒が撮影した画像をもとに講評も行っていただきました。



『自分の気持ちや考えを相手にいかにわかりやすく伝えるか』は普段の学校生活においても大きなテーマの一つです。『生徒自らが自己を深くみつめることにより自己肯定感を高め、地域に対する誇りももてるように「対話のある」学校づくりに取り組み、地域を牽引する学校にしたい』と今年度の学校の思いを設定しています。当日は1限の3年生ボランティア研修会(絵手紙ワークショップ)も併せて、『伝える力』を育む有意義な一日となりました。

芸術鑑賞(演劇)を行いました

6月11日(火)午後、三刀屋文化体育館アスパルで、本校・分校・出雲養護学校雲南分教室の生徒たちを一堂に会して「合同芸術鑑賞」を開催しました。今回は、東京芸術座からお招きした公演「十二人の怒れる男たち」を鑑賞しました。



事前に「公共」の授業でこの演劇の内容にふれ、日本の裁判員制度(陪審員制度)について学習しました。この制度が始まって今年で15周年ですが、この間に一般市民が「裁く側」として実際の公判に臨んできました。

12人の陪審員による密室での議論に見ごたえがありました。徐々に明らかになる事件の詳細と矛盾箇所の指摘に、「偏見は真実を曇らせる」というメッセージがリアルに伝わってきました。

第1回「先輩は語る」を行いました

6月25日(火)5・6限に第1回「先輩は語る」を行いました。当日は午前中までに期末考査を終え1学期の区切りをつけたところでしたので、生徒たちは皆一様にホッとした表情を浮かべていました。2学期に向けて、気持ちを早めに切り替えてもらいたいという意味を込めて、進路学習の一環で毎年この時期に行っています。



先輩たちの就職先、進学先での現状や苦労話などを聞き、自分の進路意識の高揚を図ることを目的に、就職はフォレストアドベンチャー・たなべたたらりの里、自衛隊から、進学は島根県立大学短期大学部、花園大学からそれぞれ1名ずつ、令和4年度の卒業生に来ていただきました。先輩たちは現在の様子はもちろん、高校生活のいつ頃から進路に向けた準備をしていたのか、高校生のうちにやっておいた方がよかったことなど、当時のエピソードも交えながら、生徒たちにわかりやすく、参考になることをたくさん話してくれました。同年代の先輩たちから貴重な経験談を聞くことができ、たいへん有意義な時間でした。



生徒たちには今後の高校生活でしっかりと自分と向き合い、その先の進路実現に努めていってけると期待しています。

掛合小学校とコラボ昼休み活動を行いました

7月3日（水）のお昼に、お隣の掛合小学校とコラボ昼休み活動を行いました。給食をすませた小学生たちは、分校の玄関前に生徒たちを迎えに来てくれました。出待ち状態の小学生を前に、授業を終えて出てきた高校生たちは最初は戸惑っていましたが、次第にペースをつかみ、一緒ににぎやかな時間を過ごしました。



体育委員を中心に交流を予定していましたが、飛び入り参加の生徒たちも加わり、小学校の体育館でドッジボールや、外階段下の遊具でブランコ・うんてい、グラウンドでおにごっこ・一本橋など、めいめいが好きなあそびをしました。

前日までの雨模様がうそのようにこの日は天気が良く、また30度を超える暑さも加わって、熱中症も心配されましたが、何事もなく、楽しく交流活動ができました。

掛合小学校2年生が「町たんけん」に来てくれました

7月4日（木）掛合小学校2年生が生活科「町たんけん」の学習で掛合分校に来てくれました。玄関ではみんな揃って大きな声で挨拶し、廊下で高校生が準備した「ケンケンパー」を元気よく飛んで、音楽室でかけこウイズに挑戦、そのあと答え探しやスタンプ集めにコイの池や職員室、1年生教室、玄関前、2年生教室、3年生教室、図書館など校舎内を探検しました。



高校生の授業の様子を見たり、図書館の本の数にビックリしたり、見るものすべてに小学校との違いを発見したりしたことを語ってくれました。

終わりの会ではクイズの答え合わせ、事前に用意した分校への質問など、元気いっぱい発言してくれました。



体育祭を行いました

7月12日（金）三刀屋文化体育館アスパルで体育祭を行いました。この前日の現地リハーサルまでは、連日降る大雨にたいへん心配させられました。体育祭当日も途中雨が降りましたが、屋内開催のため、安心して行うことができました。



開会式後にはPTAから会長様の激励の言葉と差し入れをいただき、競技が始まりました。

2種目めの「サイコロリレー」は、走る前にサイコロを振り、バトン代わりにそのサイコロを持って出た目の数が書かれたコーンを回ってゴールラインへ戻り、次の走者へバトンパスするという新種目でした。走力だけでなく、運（サイコロの目）も味方につけなければ早くゴールできないため、苦戦する生徒が続出するなど、白熱した競技が繰り広げられました。屋前には応援合戦がありました。赤組、青組それぞれにここまで準備してきたダンス、デコレーション、衣装をしっかりとアピールし、どちらの組も3年生中心によくまとまっていました。午前の部が終わった時点で競技得点は僅差、午後の部開始の「綱引き」にますます白熱した闘いが繰り広げられ、最後の「選抜リレー」は、走者はもちろん、見ている全員が感動と興奮の渦に巻き込まれる接戦でした。まさに体育祭テーマ「優気皆大福（ゆきみだいふく）～諦めず闘え～」（皆が優しい気持ちで闘えば大きな福がもたらされる）にふさわしい闘いでした。



競技、応援、衣装、デコも含めた総合優勝は青組でした。赤組もわずかの差でしたが、精一杯闘っている姿は素晴らしいものでした。勝ち負けに関係なく、今日のこの日のために準備を重ねてきた成果を発揮し、全員がこの体育祭にしっかりと向き合っていました。そして終わったその先に、みんなで作り上げた小さな学校でも大きなパワーを感じられる体育祭がそれぞれ思い出に刻まれたことと思います。ここで身についた力を基に、今後の学校生活を充実したものにできると信じています。

朝早くからたくさんの方の保護者の皆様にも応援していただき、ありがとうございました。